



「山室の棚田」の保全活動の促進に向けて、 『棚田パートナーシップ協定』を締結します

「つなぐ棚田遺産」に認定されている「山室の棚田」（伊那市高遠町）で栽培される酒米の生産者・醸造会社・販売組織の「棚田パートナーシップ協定」締結を機に、多様な主体による保全活動を推進します。

1 日時

令和6年2月8日（木） 午前10時00分から

2 場所

伊那合同庁舎 501・502会議室

3 出席者

株式会社仙醸	代表取締役	黒河内 貴 氏
高遠旨い酒研究会	会長	北原 義克 氏
農事組合法人山室	代表理事	大塚 治男 氏
長野県上伊那地域振興局	局長	布山 澄

4 締結式

概要説明、協定書調印、出席者挨拶、事例発表



山室の棚田の酒米で醸造された
日本酒「やまむろ」

参考

○棚田パートナーシップ協定とは

令和元年度に長野県が、棚田の保全に取り組む生産者や団体と、企業・学校、都市住民等の多様な主体を結びつけることで、継続的な保全活動を支援するため、本制度を設立しました。上伊那管内の棚田では初の締結となります。

○つなぐ棚田遺産とは

令和3年度に農林水産省が、棚田地域の活性化や棚田の持つ多面的な機能への理解促進に向けて、全国の優良な棚田を「つなぐ棚田遺産」として認定しました。全国で271地区、県内で15地区（全国3位）のうち、上伊那管内では3地区が認定されました。

確かな暮らしを守り、
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン 3.0
~大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために~

[長野県総合5か年計画推進中]

(問合せ先)

担当 上伊那地域振興局 農地整備課
計画調査係 寺島、千代

電話 0265-76-6816 (直通)

FAX 0265-76-6819

E-Mail kamichi-nochi@pref.nagano.lg.jp

(別紙)

締結者	取組概要
株式会社仙醸	<ul style="list-style-type: none">○ 南アルプスと中央アルプスに挟まれた伊那谷高遠町にある酒造会社です。○ 南アルプスを源流とするミネラル豊かな伏流水と、美しい農村風景が育んだ良質な酒米を使った、品質の高いお酒を製造しています。○ 平成 17 年からは、地元である高遠町山室地区の農事組合法人山室と栽培契約を行い、酒米「ひとごち」を使用した辛口純米酒「やまむろ」を醸造しています。
高遠旨い酒研究会	<ul style="list-style-type: none">○ 高遠町限定の地酒を開発するため、平成 15 年に伊那市高遠町の酒販店が立ち上げた組織で、現在では4軒（万寿屋商店、酒舗にんべん、十一屋商店、桜井酒店）の酒店が加盟しています。○ (株)仙醸が醸造する「やまむろ」を、「高遠産の米を使い、高遠の蔵元で醸し、高遠の酒屋だけで販売する地酒」として、研究会に加盟する4軒のみで販売しています。
農事組合法人山室	<ul style="list-style-type: none">○ 山室の棚田をはじめ、高遠町山室地区において、酒米の栽培を主体としつつ、そばやブロッコリー、ズッキーニ等の農産物を生産する農事組合法人です。○ 地域の農地を集落全体で管理し、継承していくために平成 17 年に地元農家が立ち上げた営農組織です。○ 耕作放棄地を解消するため、ほ場整備事業を実施するほか、農地貸借や市民農園の開設、棚田オーナー制度の導入など、地域資源を最大限に活用することで地域の活性化に貢献しています。